

## シラバス

指定番号 144

商号又は名称：社会医療法人清翠会

科目番号・科目名	(1) 職務の理解			
指導目標	① 研修開始に際しこれからの介護がめざすべき その人の生活を支える在宅ケアや施設ケアの実践について介護職がどのような環境でどのように仕事を行っているかを具体的なイメージをもって実感でき、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。 ② 職業教育としての研修にのぞむための目標を共有できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①多様なサービスと理解	2	2		<b>【講義内容】</b> (1) 介護の社会化と介護保険制度の創設 (2) 介護保険制度における多様なサービス (3) 介護保険外サービス <b>【実施方法】</b> DVD・テキストを用いて講義
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	4	4		<b>【講義内容】</b> (1) 介護職の仕事と働く場所 (2) 介護の業務 (3) 介護保険サービス利用までの流れ <b>【実施方法】</b> DVD・テキストを用いて講義
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト第1巻・DVD (一般財団法人 長寿社会開発センター)
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 144  
商号又は名称：社会医療法人清翠会

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	①介護職が利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることが自覚し、自立支援、介護予防という介護福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点およびやってはいけない行動例が理解できる。 ②介護の目標や展開について尊厳の保持、QOL、ノーマライゼーション、自立支援の考え方を取り入れて概説できる。 ③虐待の定義、身体拘束、およびサービス利用者の尊厳、プライバシーを傷つける介護についての基本的ポイントが言える。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	3		3	<b>【講義内容】</b> (1) 人権と尊厳の保持 (2) ICF (国際生活機能分類) (3) 生活の質 (QOL) (4) ノーマライゼーション (5) 虐待防止・身体拘束禁止 (6) 個人の権利を守る制度の概要 オンラインにて実施
② 自立に向けた介護	4		4	<b>【講義内容】</b> (1) 自立支援 ・介護における自立支援の考え方  (2) 介護予防 ・介護予防の考え方 ・介護予防重視の取り組み ・介護予防における一次・二次・三次予防 ・介護予防を推進する地域づくり オンラインにて実施
③人権啓発に係る基礎知識	2		2	<b>【講義内容】</b> 1 人権擁護の基本視点 (1) 高齢者虐待 ・高齢者虐待防止法 ・施設従事者等による高齢者虐待と身体拘束 (2) 利用者の尊厳の保持 ・成年後見制度 ・高齢者虐待防止への対応 オンラインにて実施
(合計時間数)	9		9	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト第1巻 (長寿社会開発センター)
------------	----------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 144

商号又は名称：社会医療法人清翠会

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	①介護のめざす基本的なものは何かを概説でき、家族による介護と専門職による介護の違い、介護の専門性について述べるができる。 ②介護職として共通の基本的な役割とサービスごとの特性、医療、看護との連携の必要性について述べるができる。 ③介護職として職業倫理の重要性を理解し、介護職が利用者や家族等と関わる際の留意点について、ポイントを述べるができる。 ④介護職におこりやすい健康障がいやストレス、またそれらに対する健康管理、ストレスマネジメントの在り方、留意点を述べるができる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	1		1	<b>【講義内容】</b> (1) 介護環境の特徴の理解 ・介護環境の理解・特性 ・訪問介護・施設介護の主な原則 ・地域包括ケアシステム (2) 介護の専門性 ・専門職としての介護の視点 (3) 介護に関する職種 ・他職種連携における介護職の役割 オンラインにて実施
③ 介護職の職業倫理	1		1	<b>【講義内容】</b> (1) 介護サービスの公共性と職業倫理 (2) 利用者・家族に対する責任 (3) 社会に対する責任 オンラインにて実施
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	2		2	<b>【講義内容】</b> (1) 介護における安全の確保 ・サービス提供と安全管理体制 ・事故の分類と実態 (2) 事故予防、全対策 ・リスクマネジメント ・事故発生時の対応 (3) 感染対策 ・感染の原因と経路 ・スタンダードプリコーション (標準予防策) ・手洗い ・洗浄と消毒 <b>【演習】</b> ② 手洗い 手袋装着 うがい ②消毒法 オンラインにて実施
③ 介護職の安全	2		2	<b>【講義内容】</b> (1) 健康管理とストレスマネジメント ・介護職の健康管理 ・身体的疲労 (2) 介護職の労働の権利と労働法 ・権利と労働法 オンラインにて実施
(合計時間数)	6		6	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト第1巻 (長寿社会開発センター) 演習 液体せっけん 速乾性擦り込み式手指消毒剤 ペーパータオル 使い捨て手袋 使い捨てマスク ミルトン液 計量カップ バケツ
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 144  
商号又は名称: 社会医療法人清翠会

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携			
指導目標	①生活全体の支援のなかで介護保険制度の位置づけを理解し、各サービスや地域支援の役割について述べることができる。 ②介護保険制度や障害者総合支援制度の概念、介護保険制度の財源や保険料負担の大枠について述べることができる。 ③ケアマネジメントの意義がだまかに説明でき、主なサービスの種類や内容や流れが説明できる。 ④高齢障害者の生活を支援するための基本的な考え方を理解し、主な障がい福祉サービス、権利擁護や成年後見の制度の目的、内容について述べるができる。 ⑤医行為の考え方や介護福祉士等が行う医行為などについて述べるができる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	4		4	<b>【講義内容】</b> (1) 介護保険制度創設の背景、目的および動向 (2) 介護保険制度の仕組みの基礎的理解 (3) 制度を支える組織・団体の機能と役割、財源 (4) ケアマネジメント オンラインにて実施
②医療の連携とリハビリテーション	3		3	<b>【講義内容】</b> (1) 医行為と介護 (2) 医療と介護の連携 ※事例を紹介し具体的に説明する (3) リハビリテーション職種との連携 オンラインにて実施
③障がい者総合支援制度およびその他制度	2		2	<b>【講義内容】</b> (1) 障がい福祉制度の理念 (2) 障がい者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 (3) 個人の権利を守る制度の概要 オンラインにて実施
(合計時間数)	9		9	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト第1巻 (長寿社会開発センター)
------------	----------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 144

商号又は名称: 社会医療法人清翠会

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	① 共感・受容・傾聴的態度、・気づき・基本的コミュニケーション上のポイントが理解でき述べられる。 ② 家族が抱きやすい心理や葛藤の存在と介護における相談援助技術の重要性を理解し、介護職として持つべき視点を述べられる。 ③ 言語・視覚・聴覚障害者とのコミュニケーション上の留意事項が述べられる。 ④ 介護におけるチームのコミュニケーションにおける記録の機能と重要性に気づき、主要なポイントを述べられる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護におけるコミュニケーション	3		3	<b>【講義内容】</b> (1) 介護におけるコミュニケーションの技法 ・生活場面におけるコミュニケーション ・相談援助技術の重要性 (2) 利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ・利用者の心理とコミュニケーション ・家族とのコミュニケーション (3) 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 ・言語 視覚 聴覚障害者とのコミュニケーション ・失語症、構音障害者とのコミュニケーション ・認知症に応じたコミュニケーション技術 <b>【演習】</b> ② 介護場面のロールプレイング ② 目隠し体験 難聴体験を行い 療養者の思いを知る オンラインにて実施
②介護におけるチームのコミュニケーション	3		3	<b>【講義内容】</b> (1) チームにおけるコミュニケーションとは ・チームにおけるコミュニケーションの重要性 ・コミュニケーションをとる上での基礎知識の必要性 (2) コミュニケーションを促す環境 ・情報共有 ・収集した情報の活用 (3) 報告など ・報告・連絡・相談 ・同職種間の報告 (4) 記録における情報の共有化 オンラインにて実施
(合計時間数)	6		6	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト第2巻 (長寿社会開発センター)
------------	----------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 144

商号又は名称: 社会医療法人清翠会

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	① 加齢老化に伴う生理的な変化や心身の変化・特徴、社会的、身体面。精神面、知的能力面などの変化に着目した心理的特徴について述べられる。 ② 高齢者に多い疾病の種類と、その症状や特徴および治療・生活上の留意点、及び高齢者の疾病による症状や訴えについて述べられる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 老化に伴うこころとからだの変化と日常	3		3	<b>【講義内容】</b> (1) 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・加齢と感覚・知覚の変化 ・加齢と感情の変化 ・加齢と記憶の変化 ・加齢と知能の変化 ・加齢と性格の変化 ・加齢と注意・反応の変化 (2) 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響 ・加齢の生理学 オンラインにて実施
② 高齢者と健康	3		3	<b>【講義内容】</b> (1) 高齢者の疾病と生活上の留意点 ・身体的・精神的機能の変化と病気 生活上の留意点 ・主な症状とチェックポイント (2) 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 ・生活習慣病とメタボリックシンドローム ・高血圧と糖尿病 ・循環器系の病気 ・呼吸器の病気 ・消化器の病気 ・代謝 内分泌の病気 ・脳血管系の病気 ・運動器の病気 ・アレルギー 膠原病 免疫の病気 ・血液の病気 ・腎臓 泌尿器の病気 ・こころの病気 ・目の病気 ・耳 鼻 喉の病気 ・皮膚の病気 ・歯 口腔 顎の病気 ・感染 オンラインにて実施
(合計時間数)	6		6	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト第2巻 (長寿社会開発センター)
------------	----------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 144

商号又は名称：社会医療法人清翠会

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	① 認知症ケアの理念や利用者中心というケアの考えかたについて述べられる。 ② 健康な高齢者の健忘と認知症による記憶障がいとのちがいが述べられる。 ③ 認知症の中核症状と行動心理症状などの基本的特性、およびそれに影響する要因を述べられる。 ④ 認知症の心理・行動のポイント、認知症の利用者への対応、コミュニケーションの取り方、および介護の原則について述べられる。 ⑤ 認知症の利用者の健康管理の重要性と留意点、廃用症候群予防について述べられる。 ⑥ 認知症の利用者の生活環境の意義やその在り方について主要なキーワードを述べられる。 ⑦ 認知症の利用者とのコミュニケーションの原則、ポイントについて理解でき、具体的なかわり方を述べられる。 ⑧ 家族の気持ちや家族の受けやすいストレスについて述べられる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1		1	<b>【講義内容】</b> (1) 認知症ケアの理念パーソン・センタード・ケア ・認知症ケアの視点 ・パーソン・センタード・ケアの理念 ・パーソン・センタード・ケアのアプローチ ・認知症ケアマッピング オンラインにて実施
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2		2	<b>【講義内容】</b> (1) 認知症の概念 (2) 認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント (3) 健康管理 (4) 認知症の治療 オンラインにて実施
③ 認知症に伴うこととからだの変化と日常	1		1	<b>【講義内容】</b> (1) 認知症の人の生活障害、心理、行動の特徴 ・認知症による生活の困難 (2) 認知症の利用者への対応 ・認知症の人への対応の基本 オンラインにて実施
④ 家族への支援	2		2	<b>【講義内容】</b> (1) 介護家族の現状の理解 ・介護家族の実態 (2) 介護家族による本人の理解とかかわり方 ・早期発見/異変への気づき (3) 介護職による介護家族の心理の理解と支援 ・介護負担感の軽減とBPSD ・認知症の受容過程での援助 オンラインにて実施
(合計時間数)	6		6	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト第2巻 (長寿社会開発センター)
------------	----------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。



## シラバス

指定番号 144

商号又は名称: 社会医療法人清翠会

科目番号・科目名	(8) 障がいの理解			
指導目標	① 障がいの概念とICFについて述べられ、各障がいの内容・特徴および障がいに応じた社会支援の考え方について述べられる。 ② 障がいの受容のプロセスと基本的な介護の考え方について述べられる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障害の基礎的理解	1		1	【講義内容】 (1) 障がいの概念とICF ・障がいとは ・障がいの構造 (2) 障がい福祉の基本理念 ・ノーマライゼーションの概念 ・リハビリテーション ・インクルージョン (3) 障がい者(児)とは ・障がい者(児)の定義 ・先天性障がいと中途障がい オンラインにて実施
② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1		1	【講義内容】 (1) 身体障害 (2) 知的障害 (3) 精神障害 (4) 強度行動障害 (5) 難病 オンラインにて実施
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	1		1	【講義内容】 (1) 家族への支援 ・家族支援の重要性 ・障害の理解 障害の受容支援 ・家族の置かれている環境・状況の理解 ・家族支援サービス(レスパイトケアサービスを含む) ・障がいのある人の家族への支援の具体例 オンラインにて実施
(合計時間数)	3		3	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト第2巻 (長寿社会開発センター)
------------	----------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。  
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 144  
商号又は名称: 社会医療法人清翠会

科目番号・科目名	(9)-1 こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	① 主だった状態像の高齢者の生活の様子をイメージでき、要介護度等に応じた在宅・施設等それぞれの場面における高齢者の生活について述べられる。 ② 要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則(方法・留意点・その根拠等)について大まかに説明でき生活の中の介護予防、および介護予防プログラムによる機能低下の予防の考え方や方法を述べられる。 ③ 利用者の身体の状況に合わせた介護、環境整備についてポイントを述べられる ④ 人の記憶の構造や意欲等を支援と結びつけて大まかに述べられる。 ⑤ 人体の構造や機能が述べられ、なぜ行動が起こるのかが大まかに述べられる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護の基本的な考え方	1		1	<b>【講義内容】</b> (1) 介護の基本的な考え方 ・理論と法的根拠に基づく介護 ・基本的な介護技術の原則 ・介護保険制度下の介護サービス (2) 重度化防止の視点 ・介護予防の考え方 ・介護予防プログラム ・生活のなかの介護予防に求められる視点 オンラインにて実施
② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	2		2	<b>【講義内容】</b> (1) 高齢者の心理 ・加齢に伴う変化とその心理 ・高齢者のパーソナリティと適応 (2) 自己実現と生きがいがづくり ・高齢者の喪失体験 ・マズローの欲求の5段階と生きがい ・生きがいがづくり支援。 オンラインにて実施
③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	7		7	<b>【講義内容】</b> (1) 人体の名称とはたらき (2) ボディメカニズムの活用 ・ボディメカニクスの原則 (3) 神経系に関するからだのしくみ ・行動のしくみ ・中枢神経系と体制神経に関する基礎知識 (4) バイタルチェック ・バイタルサインとは オンラインにて実施
(合計時間数)	75	55	20	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト第3巻 (長寿社会開発センター) DVD 介護技術 使用する機器 水銀体温計 電子体温計 アネロイド型血圧計 電子血圧計 聴診器
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 144

商号又は名称: 社会医療法人清翠会

科目番号・科目名	(9)-2 こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	⑥ 家事援助の機能と基本原則について述べられる ⑦ 装うことや整容の意義について解説でき、指示や根拠に整容の意義について解説でき、指示や根拠に基づいて部分的な介護を行うことができる。 ⑧ 体位変換と移動移乗の意味と関連する用具・機器やさまざまな車いす、杖などの基本的使用方法を大まかに説明でき、指示や根拠に基づいて介助を行うことができる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
④ 生活と家事	6		6	<b>【講義内容】</b> (1) 家事と生活の理解 (2) 生活援助(家事援助)に関する基礎知識と生活支援 <b>【演習】</b> ・調理・買い物(2時間) ・掃除(2時間) ・洗濯(2時間) ・被服の補修(1時間) オンラインにて実施
⑤ 快適な居住環境整備と介護	4		4	<b>【講義内容】</b> (1) 住環境整備 (2) 福祉用具の活用 <b>【演習】</b> ・福祉用具の実際と使用方法 オンラインにて実施
⑥ 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3	3		<b>【講義内容】</b> (1) 整容に関する基礎知識 (2) 整容の介護 (3) 衣服の着脱の介護 <b>【演習】</b> ・衣類の着脱の介護(ねまき パジャマ) ・つめきり ひげそり
⑦ 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	11	11		<b>【講義内容】</b> (1) 移動・移乗の介護の基本 (2) 体位・姿勢の基礎知識 (3) 移動・移乗介助に関連する福祉用具 (4) 移動介助と留意点 <b>【演習】</b> ・移乗の介護 ・車いすでの移動の介護 ・移動の介護 ・外出時の歩行介助
(合計時間数)	75	55	20	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト第3巻 長寿社会開発センター DVD 使用する機器・備品 電気コンロ 電子レンジ 鍋 包丁 まな板 ボール 掃除機 ほうき 雑巾 モップ 洗濯機 裁縫道具 パジャマ ねまき 下着 タオル シーツ 電動ベッド 車いす(自走用 介助用) 杖 椅子 スライディングボード 移動用シート 歩行器
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 144

商号又は名称: 社会医療法人清翠会

科目番号・科目名	(9)-3 こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	⑨ 食事の意味と食事を取り巻く環境整備の方法が述べられ、食事に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 ⑩ 入浴や清潔の意味と入浴を取りまく環境整備や入浴に関連した用具を述べられ入浴に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	10	10		<b>【講義内容】</b> (1) 食事の基礎的理解 ・ 食事をする意味 ・ 食事の生体機能 (2) 食事の介護 ・ 食事の介護の基本 ・ 食事のアセスメント ・ 食事の環境整備 ・ 食事介助のポイント (3) 口腔ケアの支援技術 ・ 口腔ケアの意義 ・ 口腔のしくみとはたらき <b>【演習】</b> ・ 食事の介護の実際 ・ 口腔ケアの実際
⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7		<b>【講義内容】</b> (1) 入浴介助の基本 (2) 入浴介助に関連する福祉用具 (3) 入浴介助を行う際の留意点 (4) 入浴介助 (5) 清潔保持(清拭、陰部洗浄、足浴、手浴、洗髪) <b>【演習】</b> (2) 入浴の介護の実際 (3) 身体の清潔の介護 ・ 清拭 ・ 足浴 ・ 床上洗髪
(合計時間数)	75	55	20	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト第3巻 長寿社会開発センター DVD 機器備品 電動ベッド バケツ タオル 足浴バケツ ナイロンシート ゴミ袋 ポータブルトイレ 男性用尿器 女性用尿器 安楽尿器 紙おむつ ナイロンシート 実習用人形 ねまき パジャマ
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。  
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 144  
商号又は名称: 社会医療法人清翠会

科目番号・科目名	(9)-3 こころとからだのしくみと生活支援技術		
指導目標	⑪ 排泄の意味と排泄をとりまく環境整備や関連した用具を述べられ、排せつに関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 ⑫ 睡眠の意味と睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、睡眠に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 ⑬ ターミナルケアの考え方、対応のしかた・留意点、本人・家族への説明と了解、介護職の役割や他の職種との連携について述べられる。		
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数
			講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑩排せつに関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	【講義内容】 (1) 排せつ介助の基本 DVD視聴 (2) 排せつ介助に関連する福祉用具 【演習】 (3) 排せつの介助 ・トイレの介助 ・尿器便器の使用と介助 ・紙おむつの使い方
⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3	3	【講義内容】 (1) 睡眠に関する基礎知識 【演習】 (2) 睡眠の介護 ・寝具の整え方 ・ベッドメイキング
⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	3	3	【講義内容】 (1) 老いと衰への理解とその対応 ・ターミナルケアとは ・老いと衰が進みつつある時期のケア (2) ターミナルケアの実際 ・看取りに向けた体制づくり ・看取りの実際とグリーフケア
(合計時間数)	75	55	20

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト第3巻 長寿社会開発センター DVD 機器備品 電動ベッド バケツ タオル 足浴バケツ ナイロンシート ゴミ袋 ポータブルトイレ 男性用尿器 女性用尿器 安楽尿器 紙おむつ ナイロンシート 実習用人形 ねまき パジャマ
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 144  
商号又は名称: 社会医療法人清翠会

科目番号・科目名	(9)-4 こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	⑭介護過程の目的・意義が理解でき、述べられる ⑮介護過程の展開方法がおおまかにわかり、事例の介護計画が立案できる。 ⑯立案した介護計画を評価し修正することができる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑬介護過程の基礎的理解	6	6		<b>【講義内容】</b> (1) 介護過程の基礎的理解 ・介護過程の目的・意義 ・介護過程の展開 ・介護におけるチームの役割と重要性  (2) 介護過程の展開の実際 ・事例の概要 ・介護情報 (フェイスシート) ・アセスメント・プロセスシート
⑭総合生活支援技術演習	6	6		<b>【演習】</b> (1) 要介護3 (神谷長太郎さん) の事例 ・事例の概要 ・生活状況 ・介護情報 (フェイスシート) ・アセスメント・プロセスシート  (2) 要介護3 (青山伊代さん) の事例 ・事例の概要 ・生活状況 ・介護情報 (フェイスシート) ・アセスメント・プロセスシート
(合計時間数)	75	55	20	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト第3巻 長寿社会開発センター
------------	--------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 144

商号又は名称: 社会医療法人清翠会

科目番号・科目名	(10) 振り返り			
指導目標	①研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに就業後も継続して学習研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①振り返り	3	3		【事例検討】 在宅での訪問介護業務の実際について他職種との連携等の事例検討を行い、今回の研修の学びを振り返る
(7) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	1	1		(1) 事業所等における実例に学ぶ ・専門職としての心構え ・チームケアの一員としての心構え ・事業所等におけるOJT ・継続した学習の必要性 ・介護プロフェッショナル・キャリア段位制度
(合計時間数)	4	4	0	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。  
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。